

陸上自衛隊 ニュースリリース

## JGSDF News Release



<https://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>  
(お知らせ)

令和7年8月5日  
陸上幕僚監部

令和7年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン25)の概要について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化すべく、以下のとおり令和7年度米海兵隊との実動訓練(レゾリュート・ドラゴン25)を実施しますので、お知らせいたします。

### 1 目 的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図る。

### 2 期 間

令和7年9月11日(木)～同月25日(木)

### 3 場 所

#### (1) 北海道

陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、陸上自衛隊矢臼別演習場、  
陸上自衛隊柏台演習場、陸上自衛隊丘珠駐屯地及び航空自衛隊計根別着陸場

#### (2) 東京都

海上自衛隊硫黄島航空基地

#### (3) 大分県

陸上自衛隊日出生台演習場及び陸上自衛隊十文字原演習場

#### (4) 佐賀県

陸上自衛隊目達原駐屯地

#### (5) 長崎県

海上自衛隊佐世保基地

#### (6) 熊本県

陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地及び陸上自衛隊大矢野原演習場

#### (7) 鹿児島県

陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、陸上自衛隊奄美駐屯地、  
陸上自衛隊瀬戸内分屯地及び徳之島

#### (8) 沖縄県

調整中

#### 4 訓練実施部隊等

##### (1) 陸上自衛隊等

###### ア 担任官

西部方面総監 陸将 <sup>とり</sup>鳥 <sup>うみ</sup>海 <sup>せい</sup>誠 <sup>じ</sup>司

###### イ 実施部隊

###### (ア) 陸上自衛隊

西部方面隊（総監部、第8師団、第15旅団等）、陸上総隊、北部方面隊、中部方面隊等

###### (イ) 海上自衛隊

航空集団（第4航空群及び機動施設隊）等

###### (ウ) 航空自衛隊

一部の部隊の参加を調整中

##### (2) 米海兵隊等

###### ア 担任官

第3海兵機動展開部隊司令官 中將 ロジャー・B・ターナー

###### イ 実施部隊

###### (ア) 米海兵隊

第3海兵機動展開部隊司令部、第3海兵遠征旅団、第3海兵師団（第12海兵沿岸連隊等）、第3海兵機動展開部隊情報群、第1海兵航空団、第3海兵兵站群、米海兵隊太平洋基地所属部隊等

###### (イ) 米陸軍

第3マルチドメイン・タスクフォース等

###### (ウ) 米海軍

第7艦隊等

###### (エ) 米空軍

第18航空団

(お知らせ)

令和7年8月5日  
防 衛 省

米軍再編に係る回転翼機及びティルト・ローター機  
の沖縄県外への訓練移転について

米軍再編に係る回転翼機及びティルト・ローター機の沖縄県外への訓練移転を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今回の訓練移転は、米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25）に組み込んで実施するものであり、今回で24回目（国内23回、グアム等1回）となります。

本訓練移転は、平成28年9月1日の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在、普天間飛行場に所在する回転翼機及びティルト・ローター機の訓練活動を沖縄県外に移転し、実施するものです。

- ・ 訓練期間：令和7年9月11日（木）～9月25日（木）
- ・ 参加部隊：米海兵隊第1海兵航空団第36海兵航空群
- ・ 訓練場所：丘珠駐屯地、北海道大演習場、計根別着陸場、矢臼別演習場、  
日出生台演習場、大矢野原演習場、十文字原演習場
- ・ 訓練項目：人員・物資の輸送訓練 等
- ・ 参加規模：MV-22×7機程度、CH-53×4機程度、AH-1×2機程度、  
UH-1×2機程度

※1 給油や機体整備等の拠点となる飛行場として、

- ・ MV-22は鹿屋基地を、
  - ・ CH-53は高遊原分屯地を、
  - ・ AH-1及びUH-1は目達原駐屯地を
- それぞれ使用する予定です。

※2 本内容については、今後、変更される場合があります。

# 令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25)について

令和7年8月  
防衛省

# 令和7年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン25) について

## 【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、**日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。**

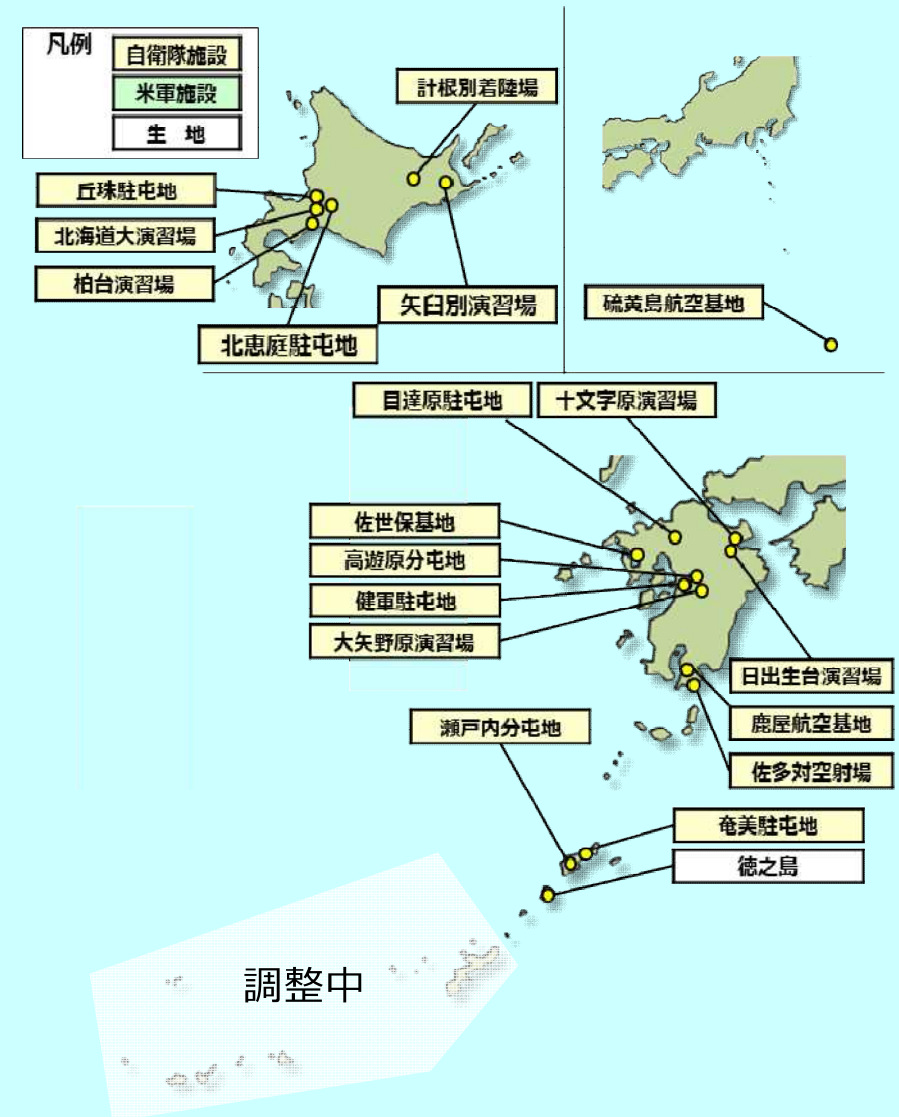
また、一部の訓練では、**島外避難に応用可能で国民保護や防災にもつながる訓練を実施します。**

## 【訓練の沿革】

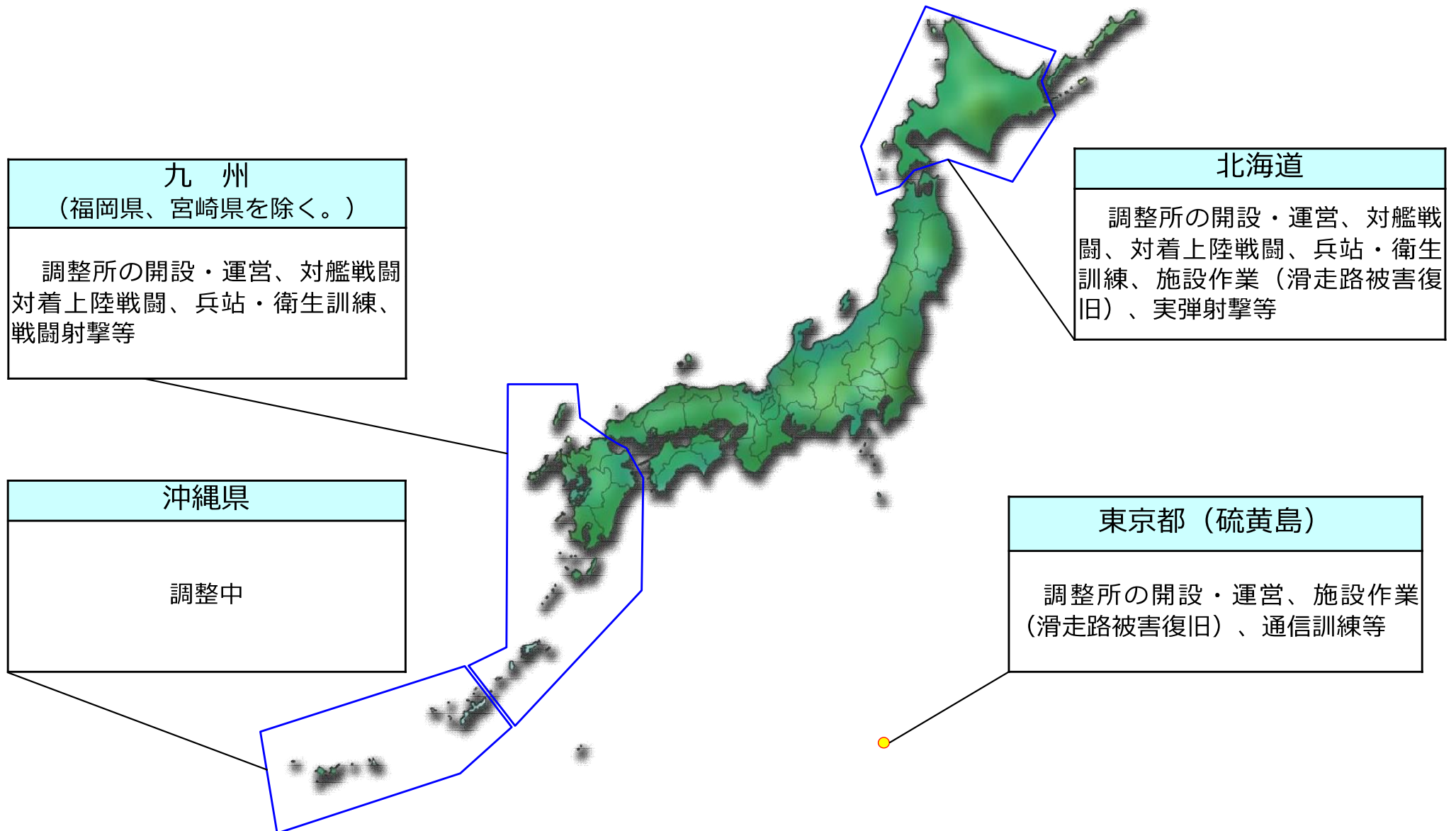
令和3年度に初めて実施し、本年度が5回目

## 【演習の実施場所及び期間】

- **演習期間：令和7年9月11日（木）～25日（木）**  
(本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定)
- **演習実施場所：**北海道、東京都、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、  
鹿児島県及び沖縄県の下記の場所
  - ・ **北海道：**陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、  
陸上自衛隊矢臼別演習場、陸上自衛隊柏台演習場、  
陸上自衛隊丘珠駐屯地、 航空自衛隊計根別着陸場
  - ・ **東京都：**海上自衛隊硫黄島航空基地
  - ・ **大分県：**陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場
  - ・ **佐賀県：**陸上自衛隊目達原駐屯地
  - ・ **長崎県：**海上自衛隊佐世保基地
  - ・ **熊本県：**陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、  
陸上自衛隊大矢野原演習場
  - ・ **鹿児島県：**陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、  
陸上自衛隊奄美駐屯地、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、徳之島
  - ・ **沖縄県：**調整中



# レゾリュート・ドラゴン25における訓練内容等（基準）



# 海上自衛隊鹿屋航空基地の使用について

## 鹿児島県

海上自衛隊鹿屋航空基地においては、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

- 【期 間】 令和7年9月11日（木）～25日（木）※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定
- 【参加部隊】 自衛隊：陸上自衛隊 約100名（陸上総隊（第1ヘリコプター団）、V-22×4機程度等）  
米 軍：米海兵隊、米海軍 約150名（第1海兵航空団、海兵航空支援部隊、MV-22×7機程度、P-8（対潜哨戒機）×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

### 訓練予定場所



矢印は航空機の飛行経路を示したものではありません。

### 訓練イメージ



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備